

運用報告書（全体版）

第13期

（決算日：2018年10月29日）

当ファンドの仕組みは、次の通りです。

商品分類	追加型投信／国内／株式	
信託期間とクローズド期間	原則として無期限（クローズド期間はありません）	
運用方針	ソフトバンク&SBIグループ株式・マザーファンド受益証券への投資を通じて、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行います。	
主要運用対象	当ファンド 〔ベビーフンド〕	ソフトバンク&SBIグループ株式・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、株式等に直接投資することもあります。
	マザー ファンド	わが国の金融商品取引所上場株式のうちソフトバンクグループ株式会社、SBIホールディングス株式会社及びそれらのグループ関連企業の株式を主な投資対象とします。
組入制限	当ファンド 〔ベビーフンド〕	株式への実質投資割合に制限を設けません。外貨建資産への投資は行いません。
	マザー ファンド	株式への投資割合に制限を設けません。外貨建資産への投資は行いません。
分配方針	毎決算時に、基準価額水準及び市場動向等を勘案して分配を行います。ただし分配対象額が少額の場合等、委託者の判断により収益分配を行わないこともあります。	

ソフトバンク& SBIグループ 株式ファンド

追加型投信／国内／株式

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「ソフトバンク&SBIグループ株式ファンド」は、2018年10月29日に第13期決算を行いました。

ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

SBIアセットマネジメント株式会社

東京都港区六本木1-6-1

お問い合わせ先

電話番号 03-6229-0097

受付時間：営業日の9：00～17：00

ホームページから、ファンドの商品概要、レポート等をご覧いただけます。

<http://www.sbiam.co.jp/>

 **SBI** Asset Management

○最近5期の運用実績

決算期	基準 (分配落)	価額			株組 入比	式率	純資 産額	
		税分	込配	み騰 金騰				
	円			円		%	百万円	
9期(2014年10月27日)	11,205			0		△16.6	95.7	1,484
10期(2015年10月27日)	12,268			0		9.5	95.8	1,176
11期(2016年10月27日)	10,942			0		△10.8	98.2	1,014
12期(2017年10月27日)	15,316			0		40.0	95.1	1,351
13期(2018年10月29日)	12,735			0		△16.9	96.0	1,240

(注1) 当ファンドは、ソフトバンクグループ株式会社、SBIホールディングス株式会社及びそれらのグループ関連企業の株式(以下、「ソフトバンク&SBIグループ株式」といいます。)に投資を行うという特色を持つファンドであり、特定のベンチマーク及び参考指数等は採用していません。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準	価額		株組 入比	式率
		騰落	率		
(期首)	円		%		%
2017年10月27日	15,316		—		95.1
10月末	14,778		△ 3.5		94.9
11月末	14,577		△ 4.8		99.1
12月末	14,343		△ 6.4		97.6
2018年1月末	14,650		△ 4.3		97.8
2月末	14,249		△ 7.0		98.1
3月末	13,548		△11.5		97.0
4月末	13,692		△10.6		95.9
5月末	12,577		△17.9		96.1
6月末	12,478		△18.5		96.5
7月末	14,341		△ 6.4		96.7
8月末	14,563		△ 4.9		97.5
9月末	15,989		4.4		96.3
(期末)					
2018年10月29日	12,735		△16.9		96.0

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) 当ファンドは、ソフトバンク&SBIグループ株式に投資を行うという特色を持つファンドであり、特定のベンチマーク及び参考指数等は採用していません。

(注3) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。

■当期の運用状況と今後の運用方針（2017年10月28日から2018年10月29日まで）

○基準価額等の推移



(注1) 当ファンドは、ソフトバンクグループ株式会社、SBIホールディングス株式会社及びそれらのグループ関連企業の株式（以下、「ソフトバンク&SBIグループ株式」といいます。）に投資を行うという特色を持つファンドであり、特定のベンチマーク及び参考指数等は採用しておりません。

(注2) 当ファンドは、設定日以降分配を行っていないため分配金再投資基準価額は記載しておりません。

○基準価額の主な変動要因

上昇要因

マザーファンドを通じて投資するSBIホールディングス等の株価の上昇が基準価額の上昇要因となりました。

下落要因

マザーファンドを通じて投資する、主要投資先であるヤフー、ソフトバンクグループ等の株価下落が基準価額の下落要因となりました。

○投資環境

期の前半から2018年1月にかけては、世界景気の拡大観測から日本株は上昇基調となりました。日経平均株価は、1992年来高値の23,800円を更新した後、高値警戒感等から大きく調整しましたが、日本の2017年7-9月期実質GDP成長率が大幅に上方修正されると反発しました。年明け1月は、海外の良好な経済指標や日銀の金融緩和継続等が好感され大きく上昇し、日経平均株価は一時24,000円台を付けました。しかし、2月に入ると米長期金利の急騰をきっかけに米株式市場が急落し、国内株式市場も大きく調整しました。その後も、貿易摩擦による景気減速懸念が上値を抑える一方、トランプ米大統領が米中貿易問題の解決に前向きな姿勢を示したことや、日米首脳会談等を好感し日本株も反発しました。5月から8月にかけては貿易摩擦懸念をはじめ世界景気の先行き不透明感の高まりを背景に一進一退の値動きが続きました。9月に入ると対中制裁関税の発動を受けて、「悪材料出尽くし」との見方から買いが優勢となり、世界的に株式市場の上昇局面となり、日経平均株価は約27年ぶりの高値となる24,271円まで上昇し、年初来高値を更新しました。しかし、米長期金利の上昇を警戒する動きが広がり、21,000円台まで下落して期末を迎えました。

○当ファンドのポートフォリオ

<当ファンド>

ソフトバンク & SBIグループ株式・マザーファンド受益証券を高位に組入れて運用を行いました。

<ソフトバンク & SBIグループ株式・マザーファンド>

ソフトバンクグループ、SBIホールディングス及びそれらのグループ関連企業の株式に投資することを運用目的としています。組入比率は、目論見書に記載の通り、原則として、組入銘柄の時価総額に比例（1銘柄の組入比率の上限は概ね50%）して決定し、3カ月ごとに組入比率の再調整を行いました。

個別銘柄別では、SBIホールディングス等がプラスに寄与した一方、ヤフー、ソフトバンクグループがマイナス寄与となりました。今期、下落が目立ったヤフーは、広告売上高が見通しを大きく上回ったものの、コマース事業での販促費増や受取保険金の剥落により増収減益となりました。具体的には、メディア事業とコマース事業が伸長し増収となった一方、火災保険金収入が無くなったことや、人材や新規事業への先行投資を背景に減益となりました。ヤフーの発行済み株式の26.8%を保有していた、大株主である米アルタバ（旧米ヤフー）が全株売却したことも重荷となり、株価は軟調に推移しました。SBIホールディングスは、好業績を背景に上昇基調となりました。けん引した金融サービス事業では、SBI証券が金融収益、引受・募集手数料やトレーディング収益など株式売買委託手数料以外のビジネスの拡大により、過去最高の収益・利益となりました。

当期の組入銘柄の異動は以下の通りです。ソフトバンクグループの持分法適用会社であるジーニー（6562）が上場したほか、SBIホールディングスの子会社であるブロードバンドセキュリティ（4398）、SBIインシュアランスグループ（7326）が上場したため、これらの銘柄について新たに買付けを行いました。また、ブックオフコーポレーション（3313）の単独株式移転により、ブックオフグループホールディングス（9278）を設立しました。これに伴い、1：1の株式交換を行いました。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは、ソフトバンクグループ株式会社、SBIホールディングス株式会社及びそれらのグループ関連企業の株式（以下、「ソフトバンク&SBIグループ株式」といいます。）に投資を行うという特色を持つファンドであり、特定のベンチマーク及び参考指数等は採用していません。

○分配金

当期の収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向等を勘案し、見送ることといたしました。

なお、収益分配に充てなかった利益につきましては、信託財産に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第13期
	2017年10月28日～ 2018年10月29日
当期分配金 (対基準価額比率)	— —%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	4,201

(注1) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

<当ファンド>

引き続き当ファンドの基本方針に基づき、ソフトバンク&SBIグループ株式・マザーファンドを通じて、ソフトバンク&SBIグループ株式に投資します。

<ソフトバンク&SBIグループ株式・マザーファンド>

引き続きソフトバンクグループ、SBIホールディングス及びそれらのグループ関連企業の株式に投資します。組入比率は、目論見書に記載の通り、原則として、組入銘柄の時価総額に比例（1銘柄の組入比率の上限は概ね50%）して決定し、3カ月ごとに組入比率の再調整を行います。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2017年10月28日～2018年10月29日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 129	% 0.912	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(61)	(0.434)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(61)	(0.434)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(6)	(0.043)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	17	0.121	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（ 株 式 ）	(17)	(0.121)	
(c) そ の 他 費 用	5	0.038	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 監 査 費 用 ）	(5)	(0.038)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他費用
合 計	151	1.071	
期中の平均基準価額は、14,148円です。			

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3) 項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注4) 売買委託手数料及びその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注5) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

○ 売買及び取引の状況

(2017年10月28日～2018年10月29日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
ソフトバンク&SBIグループ株式・マザーファンド	千口 359,779	千円 572,000	千口 284,129	千円 462,500

(注) 単位未満は切捨て。

○株式売買比率

(2017年10月28日～2018年10月29日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期	
	ソフトバンク&SBIグループ株式・マザーファンド	
(a) 期中の株式売買金額	1,083,611千円	
(b) 期中の平均組入株式時価総額	1,101,713千円	
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.98	

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2017年10月28日～2018年10月29日)

利害関係人との取引状況

<ソフトバンク&SBIグループ株式ファンド>

該当事項はありません。

<ソフトバンク&SBIグループ株式・マザーファンド>

区 分	買付額等 A			売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	
	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$			$\frac{D}{C}$	
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
株式	610	0.198112	0.0	472	-	-

平均保有割合 100.0%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該子ファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人の発行する有価証券等

<ソフトバンク&SBIグループ株式ファンド>

該当事項はありません。

<ソフトバンク&SBIグループ株式・マザーファンド>

種 類	買 付 額	売 付 額	当 期 末 保 有 額
	百万円	百万円	百万円
株式	76	36	140

売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	当 期
売買委託手数料総額 (A)	1,365千円
うち利害関係人への支払額 (B)	0.212千円
(B) / (A)	0.0%

(注) 売買委託手数料総額は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とはモニングスター、SBIホールディングス、株式会社SBI証券です。

○組入資産の明細

(2018年10月29日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ソフトバンク&SBIグループ株式・マザーファンド	794,857	870,506	1,236,815

(注) 単位未満は切捨て。

マザーファンドにおける組入資産の明細につきましては、後述のマザーファンドの「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2018年10月29日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ソフトバンク&SBIグループ株式・マザーファンド	1,236,815	98.9
コール・ローン等、その他	13,594	1.1
投資信託財産総額	1,250,409	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

○特定資産の価格等の調査

該当事項はありません。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2018年10月29日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	1,250,409,638
コール・ローン等	13,593,738
ソフトバンク&SB1グループ株式・マザーファンド(評価額)	1,236,815,900
(B) 負債	9,560,972
未払解約金	3,981,743
未払信託報酬	5,362,914
未払利息	37
その他未払費用	216,278
(C) 純資産総額(A-B)	1,240,848,666
元本	974,395,448
次期繰越損益金	266,453,218
(D) 受益権総口数	974,395,448口
1万口当たり基準価額(C/D)	12,735円

<注記事項(運用報告書作成時には監査未了)>
(貸借対照表関係)

期首元本額	882,471,903円
期中追加設定元本額	520,037,269円
期中一部解約元本額	428,113,724円

○損益の状況 (2017年10月28日～2018年10月29日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 9,103
支払利息	△ 9,103
(B) 有価証券売買損益	△197,059,371
売買益	28,189,805
売買損	△225,249,176
(C) 信託報酬等	△ 10,649,775
(D) 当期繰越損益金(A+B+C)	△207,718,249
(E) 前期繰越損益金	136,253,245
(F) 追加信託差損益金	337,918,222
(配当等相当額)	(269,295,850)
(売買損益相当額)	(68,622,372)
(G) 計(D+E+F)	266,453,218
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	266,453,218
追加信託差損益金	337,918,222
(配当等相当額)	(269,685,364)
(売買損益相当額)	(68,232,858)
分配準備積立金	139,684,380
繰越損益金	△211,149,384

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(3,431,135円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(269,685,364円)および分配準備積立金(136,253,245円)より分配対象収益は409,369,744円(1万口当たり4,201円)ですが、当期に分配した金額はありません。

第13期 運用報告書

(決算日 2018年10月29日)

ソフトバンク & S B I グループ株式・マザーファンド

受益者のみなさまへ

ソフトバンク & S B I グループ株式・マザーファンドの第13期（2017年10月28日から2018年10月29日まで）の運用状況をご報告申し上げます。

当マザーファンドの仕組みは次の通りです。

運 用 方 針	この投資信託は、わが国金融商品取引所上場株式のうちソフトバンクグループ株式会社、S B I ホールディングス株式会社及びそれらのグループ関連企業の株式（以下、「ソフトバンク & S B I グループ株式」といいます。）を主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行います。
主 要 運 用 対 象	わが国の金融商品取引所上場株式のうちソフトバンクグループ株式会社、S B I ホールディングス株式会社及びそれらのグループ関連企業の株式を主な投資対象とします。
組 入 制 限	株式の投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資は、行いません。

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		株 組 入 比 率	純 資 産 額
		騰 落	中 率		
9期(2014年10月27日)	円		%	%	百万円
	12,048	△16.1		96.0	1,479
10期(2015年10月27日)	13,309	10.5		96.4	1,168
11期(2016年10月27日)	11,976	△10.0		98.4	1,012
12期(2017年10月27日)	16,929	41.4		95.5	1,345
13期(2018年10月29日)	14,208	△16.1		96.3	1,236

(注1) 当ファンドは、ソフトバンク&SBIグループ株式に投資を行うという特色を持つファンドであり、特定のベンチマーク及び参考指数等は採用しておりません。

(注2) 株式組入比率は純資産総額に対する評価額の比率です。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		株 組 入 比 率
		騰 落	率	
(期 首) 2017年10月27日	円		%	%
	16,929	—		95.5
10月末	16,334	△ 3.5		95.2
11月末	16,126	△ 4.7		99.4
12月末	15,894	△ 6.1		97.8
2018年1月末	16,247	△ 4.0		98.1
2月末	15,812	△ 6.6		98.4
3月末	15,043	△11.1		97.4
4月末	15,215	△10.1		96.3
5月末	13,984	△17.4		96.5
6月末	13,883	△18.0		96.8
7月末	15,977	△ 5.6		96.9
8月末	16,239	△ 4.1		97.8
9月末	17,836	5.4		94.3
(期 末) 2018年10月29日				
	14,208	△16.1		96.3

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) 当ファンドは、ソフトバンク&SBIグループ株式に投資を行うという特色を持つファンドであり、特定のベンチマーク及び参考指数等は採用しておりません。

(注3) 株式組入比率は純資産総額に対する評価額の比率です。

■当期の運用状況と今後の運用方針（2017年10月28日から2018年10月29日まで）

○運用経過

【基準価額の推移】



当マザーファンドの基準価額は、期首16,929円から始まったあと、期末には14,208円となりました。期を通じて騰落率は△16.1%の下落となりました。

	期首	期中高値	期中安値	期末
日付	2017/10/27	2018/10/1	2018/6/28	2018/10/29
基準価額 (円)	16,929	17,845	13,741	14,208

【組入上位10銘柄】

(2018年10月29日現在)

	銘柄名	業種 / 種別等	通貨	国(地域)	比率 %
1	ソフトバンクグループ	情報・通信業	円	日本	48.3
2	ヤフー	情報・通信業	円	日本	30.3
3	SBIホールディングス	証券・商品先物取引業	円	日本	10.8
4	アスクル	小売業	円	日本	2.8
5	パルティコム	サービス業	円	日本	0.8
6	ソフトバンク・テクノロジー	情報・通信業	円	日本	0.7
7	SBIインシュアランスグループ	保険業	円	日本	0.5
8	モーニングスター	サービス業	円	日本	0.5
9	ジーニー	サービス業	円	日本	0.3
10	ブックオフグループホールディングス	小売業	円	日本	0.2
	組入銘柄数		16銘柄		

(注1) 比率は、純資産総額に対する割合です。

(注2) 国(地域)につきましては発行国を表示しております。

○当ファンドのポートフォリオ

ソフトバンクグループ、SBIホールディングス及びそれらのグループ関連企業の株式に投資することを運用目的としています。組入比率は、目論見書に記載の通り、原則として、組入銘柄の時価総額に比例（1銘柄の組入比率の上限は概ね50%）して決定し、3カ月ごとに組入比率の再調整を行いました。

個別銘柄別では、SBIホールディングス等がプラスに寄与した一方、ヤフー、ソフトバンクグループがマイナス寄与となりました。今期、下落が目立ったヤフーは、広告売上高が見通しを大きく上回ったものの、コマース事業での販促費増や受取保険金の剥落により増収減益となりました。具体的には、メディア事業とコマース事業が伸長し増収となった一方、火災保険金収入が無くなったことや、人材や新規事業への先行投資を背景に減益となりました。ヤフーの発行済み株式の26.8%を保有していた、大株主である米アルタバ（旧米ヤフー）が全株売却したことも重荷となり、株価は軟調に推移しました。SBIホールディングスは、好業績を背景に上昇基調となりました。けん引した金融サービス事業では、SBI証券が金融収益、引受・募集手数料やトレーディング収益など株式売買委託手数料以外のビジネスの拡大により、過去最高の収益・利益となりました。

当期の組入銘柄の異動は以下の通りです。ソフトバンクグループの持分法適用会社であるジーニー（6562）が上場したほか、SBIホールディングスの子会社であるブロードバンドセキュリティ（4398）、SBIインシュアランスグループ（7326）が上場したため、これらの銘柄について新たに買付けを行いました。また、ブックオフコーポレーション（3313）の単独株式移転により、ブックオフグループホールディングス（9278）を設立しました。これに伴い、1：1の株式交換を行いました。

○今後の運用方針

引き続きソフトバンクグループ、SBIホールディングス及びそれらのグループ関連企業の株式に投資します。組入比率は、目論見書に記載の通り、原則として、組入銘柄の時価総額に比例（1銘柄の組入比率の上限は概ね50%）して決定し、3カ月ごとに組入比率の再調整を行います。

○1万口当たりの費用明細

(2017年10月28日～2018年10月29日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	円 19 (19)	% 0.121 (0.121)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) そ の 他 費 用 (そ の 他)	0 (0)	0.000 (0.000)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 信託事務の処理等に要するその他費用
合 計	19	0.121	
期中の平均基準価額は、15,715円です。			

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

○売買及び取引の状況

(2017年10月28日～2018年10月29日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
国 内	上 場	千株 647	千円 610,908	千株 508	千円 472,702

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 単位未満は切捨て。

(注3) ()内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○株式売買比率

(2017年10月28日～2018年10月29日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	1,083,611千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	1,101,713千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.98

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2017年10月28日～2018年10月29日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
株式	百万円 610	百万円 0.198112	% 0.0	百万円 472	百万円 -	% -

利害関係人の発行する有価証券等

種 類	買 付 額	売 付 額	当 期 未 保 有 額
株式	百万円 76	百万円 36	百万円 140

売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	当 期
売買委託手数料総額 (A)	1,365千円
うち利害関係人への支払額 (B)	0.212千円
(B) / (A)	0.0%

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とはモーンスタースター、SBIホールディングス、株式会社SBI証券です。

○組入資産の明細

(2018年10月29日現在)

国内株式

銘柄	期首(前期末)	当 期 末	
	株 数	株 数	評 価 額
	千株	千株	千円
医薬品 (0.2%)			
窪田製薬ホールディングス	6.4	8.1	2,430
情報・通信業 (82.8%)			
イーブックイニシアティブジャパン	0.9	1.1	2,407
ブロードバンドセキュリティ	—	0.8	1,934
ヤフー	954.7	1,055.7	374,773
ソフトバンク・テクノロジー	3.7	4.5	8,811
ソフトバンクグループ	63.2	70.3	597,971
小売業 (3.2%)			
ベクター	2.3	2.9	1,162
アスクル	9.3	11.3	34,352
ブックオフコーポレーション	3.8	—	—
ブックオフグループホールディングス	—	4.2	3,057
証券、商品先物取引業 (11.3%)			
SBIホールディングス	37.6	48.5	133,957

銘柄	期首(前期末)	当 期 末		
	株 数	株 数	評 価 額	
	千株	千株	千円	
保険業 (0.5%)				
SBIインシュアランスグループ	—	4.7	6,439	
サービス業 (2.0%)				
アイティメディア	3.4	4.1	2,214	
バリューコマース	5.8	7.1	10,472	
モーニングスター	14.1	17.2	6,088	
サイジニア	0.3	0.4	460	
ジーニー	—	3.6	4,212	
合 計	株 数 ・ 金 額	1,105	1,244	1,190,744
	銘柄数<比率>	13	16	<96.3%>

(注1) 銘柄欄の()内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。

(注2) 合計欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

(注4) 一印は組入れなし。

○投資信託財産の構成

(2018年10月29日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
株式	1,190,744	93.8
コール・ローン等、その他	79,299	6.2
投資信託財産総額	1,270,043	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

○特定資産の価格等の調査

該当事項はありません。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2018年10月29日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	1,270,043,704
コール・ローン等	34,514,811
株式(評価額)	1,190,744,400
未収入金	41,208,343
未収配当金	3,576,150
(B) 負債	33,204,083
未払金	33,203,369
未払利息	94
その他未払費用	620
(C) 純資産総額(A-B)	1,236,839,621
元本	870,506,687
次期繰越損益金	366,332,934
(D) 受益権総口数	870,506,687口
1万口当たり基準価額(C/D)	14,208円

<注記事項>

(貸借対照表関係)

期首元本額	794,857,061円
期中追加設定元本額	359,779,375円
期中一部解約元本額	284,129,749円
期末における元本の内訳	
ソフトバンク&SBIグループ株式ファンド	870,506,687円

○損益の状況 (2017年10月28日～2018年10月29日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	14,090,013
受取配当金	14,117,482
その他収益金	81
支払利息	△ 27,550
(B) 有価証券売買損益	△232,371,534
売買益	37,156,073
売買損	△269,527,607
(C) その他費用	△ 1,779
(D) 当期損益金(A+B+C)	△218,283,300
(E) 前期繰越損益金	550,765,860
(F) 追加信託差損益金	212,220,625
(G) 解約差損益金	△178,370,251
(H) 計(D+E+F+G)	366,332,934
次期繰越損益金(H)	366,332,934

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注3) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。